

コロナ・物価高騰対策はなく マイナンバーカード取得に多額の費用

9月議会最終日、なすまどか議員が問題点を指摘、補正予算に討論
情報漏洩リスクを高めるマイナンバーカード取得は推進

マイナンバーカード交付率向上のため、出張申請・窓口体制強化等に3億円予算化しました。法律で義務化されていないカードの取得に多額費用を使い、導入されている社会保障・税・災害対策を、今後、国

家資格・自動車登録等に広げれば、情報漏洩リスクの危険が高まります。

基本にある「社会保障給付抑制」と、「国と大企業の財政負担軽減」という制度の出発点に照らしても大きな問題です。

コロナ・物価高騰対策に「独自策」は皆無の冷たい市政

コロナ禍に、10月からは更なる物価高騰が続く中、市独自の生活応援策がありません。同じ政令市・新潟市は、物価

高騰対策として、住民税非課税世帯へ暖房用灯油代・1世帯1万5,000円の支給を決めました。(予算13億4,000万円)

訪問先にありきの「台湾視察」に608万円

TSMC熊本進出に先駆け、市長及び執行部10名、議長と随行2名、合計12名の台湾視察旅費608万円が予算化されました。しかし、どこをどう視察するか不明なまま、予算だけが先に提案されています。

**日本共産党
熊本市議会だより**

NO. 1295
2022年10月9日号
電話 328-2656
FAX 359-5047



熊本市中央区手取本町1-1 メール: kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
発行: 日本共産党熊本市議団HP: [共産党 熊本市議団](#)

検索



上野みえこ
(中央区)



なすまどか
(東区)

【9月議会の主な議案の賛否】 ○：賛成 ×：反対

(内容)	共産党	熊本自民	自民	市民連合	公明	白河部	緒方
2022年度一般会計補正予算	×	○	○	○	○	○	○
2021年度各会計決算(企業会計を除く)	×	○	○	○	○	○	○
「旧統一協会と政界との関係解明・断絶を求める意見書」	○	×	×	○	×	×	○

- *市議会最終日は、「2022年度補正予算」、「2021年度各会計決算(企業会計を除く)」にそれぞれ問題点を指摘し、討論を行いました。
- *新たに制定される「熊本市防災基本条例」は、全会一致で可決されました。しかし、内容に不十分な点もあり、日本共産党市議団としての意見を述べて、上野みえこ議員が討論を行いました。
- *日本共産党市議団が提案した「旧統一協会と政界との関係解明・断絶を求める意見書」(案)は、市民連合の賛同を得て議案となりましたが、賛成少数で否決となりました。

弁護士による「無料法律相談」のご案内

日本共産党が毎月定例で行っている無料の法律相談です。どなたでもご利用できます。また、生活相談も合わせて行っています。「事前予約制」です。ご希望の日時に電話予約をお願いします。

- 10月19日(水) 午前10時~12時
中央区相談会場(大江5-15-9 熊本民商会議室) TEL 285-6120
- 10月26日(水) 午後1時30分~4時
山本のぶひろ渡鹿生活相談所(渡鹿5-19-7) TEL 362-5181
- 11月8日(火) 午前10時~午後4時
さくら法律事務所(京町本町1-22) TEL 090-8667-3148
- 11月9日(水) 午後3時~5時
東区生活相談所(新生2-5-18 ハイツふかだ1F) TEL 328-2656
- 11月10日(木) 午後1時~4時
菜の花法律事務所(南区江越1-17-12) TEL 322-7731
- 11月21日(月) 午後6時~8時
北区生活相談所(武蔵ヶ丘1-10-1) TEL 338-2001

「2021 年度決算」に見る大西市政の実態 大型開発・ハコモノ行政が招いた過去最悪の借金財政 コロナ禍に苦しむ市民に、値上げ・負担増の連続



過去最高 5,000 億円の借金・・・市民 1 人・約 70 万円

市政史上最大のハコモノ「桜町再開発・熊本城ホール」への補助金・整備費等・約 450 億円の投資のツケで、熊本市は過去最悪の借金財政になりました。

2021 年度末の市債残高は 5,000 億円、中核市一の借金財政（市民 1 人・約 50 万円の借金）となった時を上回る市民 1 人・約 70 万円の借金です。

熊本城ホールに「5 億円」の指定管理料補てん

熊本城ホールは、指定管理料・ゼロ円で契約しましたが、2020～21 年度の 2 カ年で約 5 億円の補てん。一方、黒字の時は最高 1 億円の還元。納得できない不当な企業への支援です。

系・38 件を想定しました。実際は、圧倒的にコンサートが多く、学会系 20 件・コンサート系 47 件（2021 年度）でした。学会とコンサートは、経済波及効果も大きく違い、現状では MICE 施設整備の必要性、その是非が問われます。

MICE 基本計画では、学会系催事・年間 80 件、コンサート

「公の施設」の性格を歪める辛島公園の有料化

必要ない改修に 4 億 6,000 万円かけた辛島公園は、完成後に管理を民間委託、「有料公園施設」を設置、民間業者の料金徴収を可能にしました。誰もが自

由に利用する公園の有料化は、「公の施設」・都市公園のあり方を大きく歪めるものです。

1 時間あたりで、
芝生広場 3,700 円、多目的広場 2,500 円、花畑公園階段 380 円

市民生活を追い詰めるあらゆる分野での値上げ

【都市計画税】長年据置き of 税率が 0.3% 引上げ、26.5 億円の増税。

【熊本城入園料】大人・500 円⇒800 円、子ども（中学生以下）・200 円⇒300 円、年間パス券・1,000 円⇒1,600 円、総額 4.4 億円の負担増。

【児童育成クラブ利用料】1 カ月の利用料が 700 円の値上げ、夏休み利用料は 4,300 円⇒9,500 円（約 2 倍）、それまでなかった延長料金を 1,200 円徴収、年間負担増額・1 億 1,800 万円。

【市民病院の初診料・再診料】初診料 3,300 円⇒5,500 円（1.7 倍）、再診料 820 円⇒2,750 円（3.4 倍）の値上げ、年間ベースで約 200 万円の負担増。

*市民病院の初診料・再診料値上げは、2019・2021・2022 年度と、新病院開業（2019 年度）以来ほぼ毎年値上げです。コロナ支援で事業が黒字決算の中、利用者負担増は容認できません。

さらに続ける大型ハコモノ「市庁舎整備」450 億円

議会が議論を凍結している市庁舎整備は、市長の諮問機関として「本庁舎整備の在り方に関する有識者会議」が設置され、「建替えありき」の発言が飛び交っており、ゼロベースの公平な議論とは言えません。

その「耐震性能分科会」は、

会議内容・資料が全く非公開です。科学的根拠に基づき議論する耐震性能問題は、議論を公開しても結論に影響はないはず。むしろ「非公開」により、出る結果に疑義が持たれる状況となっており、すべてを直ちに公開すべきです。